

Nocturnal Intermittent Hypoxia and the Risk of Cardiovascular Disease among Japanese Populations: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2023-06-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大貫, 慧介 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002914

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2599 号

Nocturnal Intermittent Hypoxia and the Risk of Cardiovascular Disease among Japanese Populations: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)

日本人集団における夜間観血的低酸素と循環器疾患のリスクについて

大貫 慧介 (おおぬき けいすけ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、5,313 人の地域住民を対象に睡眠時無呼吸の重症度の代替マーカーである夜間間欠的低酸素と循環器疾患の発症リスクとの関連について検討した論文である。これまで中等度以上の睡眠時無呼吸と循環器疾患発症との関連については主に国外から報告されてきたが、我が国での検討はない。本論文では、中央値 12.8 年間の観察において、夜間間欠的低酸素の指標である 1 時間あたり 3%以上の酸素飽和度低下数 (3%酸素飽和度指数 [ODI]) < 5 と比較して、3%ODI ≥ 5 では循環器疾患発症のハザード比が 1.49 (95%信頼区間 1.09-2.03)、ラクナ梗塞で 2.13 (1.08-4.22)、心疾患 (急性心筋梗塞、労作性狭心症、突然死) で 1.93 (1.16-3.19) と有意なリスク上昇が認められることを明らかにした。現在、睡眠時無呼吸の重症度の判定は、主に終夜睡眠ポリソムノグラフィ検査から算出される無呼吸低呼吸指数 (AHI) で行われているが、夜間間欠的低酸素の意義についての研究は限られている。本研究は、夜間間欠的低酸素の健康影響に関するエビデンスを示しており、社会医学的に意義のある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。